

松江市城北公民館

1. 松江市城北公民館の概要

松江市城北地区は国際文化観光都市松江の表看板たるヘルン旧居、武家屋敷、堀川遊覧等を有する地域であり、城下町の名残を残し、且つ又次第に団地・マンション等の増加により、旧住宅地と団地族との混同する典型的な松江市内の旧住宅地であります。人口は 7,790 人世帯数は 3,212 世帯高齢化率は 25.6%であります。

又、公民館活動としては、生涯学習教育を基準に「学びながら新しいまちづくり」構想を打ち出し、福祉・環境・青少年健全育成・地域防災等を受け持っています。

2. 事業の概要

(1) はじめに（実証事業名、実証事業のテーマ、ねらい 等）

城下町松江の名残を残す松江地区有数の地域だけに「温故知新」古きを訪ね、新しきを知る、の如く、歴史を学び、先人達の足跡を振り返りながら、「ふるさとを発見し」「ふるさとについて考え」「ふるさとを愛する」事により活性化する様なまちづくりを作り上げる事を目的とする。

(2) 具体的取組（内容、活動状況 等）

①「歴史ゼミナール」

会員 60 人を以って構成し、年間 9 回に亘り、日本史を古代よりシリーズにて勉強し、特に西洋史との繋がりを考えていく。

②「ふるさと訪ねある記」

会員 80 人を以って構成し、年間 9 回に亘り、地元城北に於ける歴史を探求、城北地区の成り立ちと、先人達の偉業を研修し、現在の城北地区に結びつけ、まちづくり構想を打ち立て、実践していく。

3. 事業の成果

(1) 「歴史ゼミ」「ふるさと訪ねある記」共に講師を固定化し、諸説ある中、わかりやすい講義をお願い、本当の歴史を勉強した様に思われます。

(2) 身近にある地域の歴史を学ぶことにより、より一層のふるさと感を充実させ、今頃全く、考えていなかった歴史観、地域の愛着心を植え付けたものと推測されます。

4. 課題と今後の取組

当初より 3 年計画で「歴史ゼミ」「ふるさと訪ねある記」を計画した関係上、1 年間の顧みて、まだ、初期の段階に終わった感じがします。

2 年度（平成 20 年度）も同様のゼミナールを計画、更に受講者も増加する予定であり、由緒ある旧城下町城北地区の歴史を探求、現代に結びつけ、「住みよい、暮らしやすいまちづくり」構想に専念を致したく思います。